

## 横浜・黄金町エリアのまちが舞台のアートフェスティバル 黄金町バザール 2020 第2部が開幕！

コロナ禍で模索した新たな「滞在制作」が生みだしたアート作品

この度、初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会ならびに特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンターは、「黄金町バザール 2020 -アーティストとコミュニティ」の第2部を開幕しました。

本展第1部は、9月11日(金)から10月11日(日)に開催し、黄金町アーティスト・イン・レジデンスに参加するアーティスト42組による作品を、2万人を超える方々にご覧いただきました。

11月6日(金)より始まった第2部は、推薦と公募により選ばれた6ヵ国9組のゲストアーティストが参加しています。彼らはそれぞれの視点から「コミュニティ」を解釈し、コロナ禍において模索した新たな「滞在制作」を通して新作を発表しています。

本展を一人でも多くの方にご覧いただきたく、ぜひご取材・ご紹介いただけますと幸いです。



### タイトル黄金町バザール 2020 -アーティストとコミュニティ

会 期 | 第2部 2020(令和2)年11月6日(金)～11月29日(日)

時 間 | 11:00～19:00 休場日 | 木曜日

会 場 | 京急線日ノ出町駅・黄金町駅間の高架下スタジオ、周辺のスタジオ、ほか

料 金 | 1,000円(一般)、無料(高校生以下) ※第1部、第2部共通パスポート

主 催 | NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター、初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会

公式WEB | <http://koganecho.net/koganecho-bazaar-2020/>

公式SNS | Facebook(@koganechobazaar)、twitter (@koganechobazaar)、Instagram (@koganechoamc)

※第1部でお引き換えいただいた「黄金町バザール 2020 パスポート」でご入場可能です。

※会場では新型コロナウイルス感染症対策を行っております。ご来場の際は必ずインフォメーションにお立ち寄りください。

### 黄金町バザールについて

「黄金町バザール」は横浜・黄金町を舞台に2008年から毎年開催しているアートフェスティバルです。黄金町では「アートによるまちづくり」の一環として、アーティストがまちに滞在して作品を制作する「アーティスト・イン・レジデンス(AIR)」を展開しています。第1部は黄金町AIR参加アーティストから42組、第2部は国内外のゲストアーティスト9組が作品展示を行います。

### 取材のお申し込みについて

下記まで取材希望日をお知らせください。

黄金町エリアマネジメントセンター (広報担当: 立石、神田)

Tel | 045-261-5467 Fax | 045-325-722 E-mail | pr@koganecho.net

住所 | 横浜市中区黄金町1-4 先 高架下スタジオ Site-B

## 1. ディレクターメッセージ

第2部は第1部とかなり対照的な展覧会になります。黄金町に長期滞在して、この地域のことや他のアーティストのことをよく知っているアーティストたちによる第1部の展示はこの街の日常的な雰囲気をよく伝えて



ていました。黄金町はアーティストがいる街だということ。第2部は短い期間の滞在アーティストとリモート制作のため黄金町を知らないアーティストの組み合わせになりました。これは私たちにとってもこれまで経験したことのない可能性への挑戦でした。そしてアーティスト自身にとってもこの環境での制作は、大きな挑戦だったと思います。その成果をぜひ多くの方に見ていただきたいと思います。

黄金町バザールディレクター 山野真悟

## 2. プログラム

### メインプログラム

推薦と公募によって選ばれた6ヵ国9組のアーティストがそれぞれの視点から「コミュニティ」を解釈し、コロナ禍において模索した新たな「滞在制作」を通して新作を発表します。

No	アーティスト名(日)	アーティスト名(英)	拠点	参加方法
1	RL + NM	RL + NM	クアラルンプール、マレーシア	リモート制作
2	アルフィア・ラッディニ	Alfiah Rahdini	バンドン、インドネシア	リモート制作
3	カオ・ツネヨシ	Gan Siong King	クアラルンプール、マレーシア	リモート制作
4	トン・ウェンミン(童文敏)	Tong Wenmin	重慶市、中国	リモート制作
5	藤田 淑子	Yoshiko Fujita	東京都、日本	滞在制作
6	ホアン・グッガー	Juan Gugger	コルドバ、アルゼンチン	リモート制作
7	安田 葉	Yo Yasuda	神奈川県、日本	滞在制作
8	山田 悠	Haruka Yamada	東京都、日本	滞在制作
9	ラルフ・ルムブレス	Ralph Lumbres	ケソン市、フィリピン	滞在制作

### 3. 出品作品介绍（一部）

#### ★2030年に開封する「タイムカプセル」を近隣の小学生や住民と制作



ラルフ・ルムブレスは、8月より黄金町での滞在を始め、黄金町のまちづくりに関わってきた人へのインタビューや、小学校でのワークショップを経て今作を制作しました。来場者は会場に設置されたポストカードに、10年後に向けたメッセージを記入することで本プロジェクトに参加することができます。インタビューの記録、ワークショップの成果物、ポストカードは壺に納められ、タイムカプセルとして2030年まで保管されます。未来の誰かとの会話の機会を作り出すことで、時間を越えたコミュニティを考えるきっかけを生み出します。



**★公共空間内に生じている社会的・文化的事象の関係性について問いかける**  
アルフィア・ラッディニは、日本のアニメキャラクターに扮するムスリムのコスプレイヤーの彫刻を制作しました。バンドン市内の公共空間に彫刻を設置した様子と、道ゆく人々の反応を映像作品にまとめ、展示しています。異なる文化やその受容、アートに関わる問いを投げかけ、そこに現れる公共性を捉えようとしています。



**★視覚的な詩性やアクションを用いたパフォーマンス**  
童文敏（トン・ウェンミン）の作品は、中国、タイ、マレーシアなど様々な場所、時間に行われたパフォーマンスを元に制作されました。山の上で9つの石と髪の毛とを結び、風になびかれる。星が広がる田舎の夜空の下、蛍光灯で作った星を運ぶ。燃え尽きたバナナの木の上で徐々に激しく動く。はるか昔に倒れた塔の下にあった鷹の羽を身につけ、町中を跳び回る、など、単純化された規則的な動きを通して、「身体を使って思考する」アーティストの世界との対峙の仕方を遊戯的に表し紹介します。



### ★来場者対象のワークショップを実施中

RL + NM は、イラストや木版画を制作するリコ・レオンと、写真を制作するとともに研究や執筆も行うナターシャ・ムインによるコレクティブです。現在1日10名まで参加できる木版画ワークショップを実施しており、計50人の参加によって1つの作品を完成させます。作品完成後は会場で展示されます。

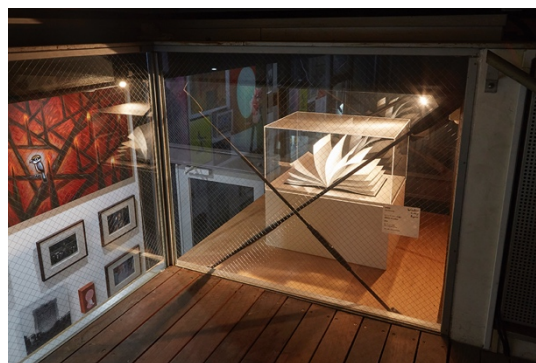
### 作品解説はオンライン上でもご確認いただけます

[日本語] <http://koganecho.net/koganecho-bazaar-2020/artist/vol2-japanese-worklist.html>

[英語] <http://koganecho.net/koganecho-bazaar-2020/artist/vol2-english-worklist.html>

### 特別プログラム「ウィンドウ・ギャラリー・プロジェクト」

スタジオ入り口や窓辺に設置された、小さな展示スペース「ウィンドウ・ギャラリー」には、黄金町バザール開催期間以外にも常時作品が展示され、野外から作品を鑑賞することができます。ここで活動するアーティストたちの作品があふれ、歩けば作品が目飛び込んでくる、そんなまちを目指したプロジェクトです。



## 4. 会期中のイベント

オンラインセミナープログラム「アジアのアートの転移と再生 ―地域、都市の中のアートとアーティスト」  
地域と時代を異にする3つの地域、都市におけるアートとアーティストの事例について、それぞれの歴史的意義を振り返るとともに、現在にもたらした影響について考察するオンライントークセッションを開催します。

【実施方法】zoom ウェビナー（事前申込制、日英同時通訳あり）

【申込方法】公式サイトでの申込フォームから <http://koganecho.net/koganecho-bazaar-2020/seminar/>

**11月21日(土)**

「中国前衛美術家展[非常口]」

山野真悟（黄金町エリアマネジメントセンター 事務局長）

大西若人（朝日新聞編集委員）

**11月22日(日)**

「フィリピンのコミュニティ・アートフェスティバルの過去と現在」

平野真弓（Load na Dito Projects 主宰）

テッサ・マリア・グアゾン（キュレーター、フィリピン大学ディリマン校芸術学部助教授）

**11月23日(月)**

「インドにおけるパブリック空間／ローカルのアート実践：プージャ・スードのプロジェクト」

内海潤也（黄金町エリアマネジメントセンター キュレーター）、

プージャ・スード（インディペンデント・キュレーター、KOHJ International Artists' Association ディレクター）

【写真】1991年「非常口」作品制作中の蔡國強と黄永碌、楊杰昌、山野真悟記録集「ミュージアム・シティ・プロジェクト 1990-200X」より



## オンラインコンテンツ

【山野ディレクターによる黄金町バザール 2020 第1部オーディオコメンタリーツアー】

10月11日(日)に閉幕した第1部を、オンライン映像でお楽しみいただけます！ナレーションとして、山野ディレクターが会期を通して感じたことなどを語っています。

<https://youtu.be/bydWNt96wc4>



【黄金町バザール 2020 第2部プロモーションムービー】

参加アーティストの制作風景を集めて映像にまとめました。

<https://youtu.be/nHrkBeuYJp4>



## 5. 同時開催

黄金町エリアマネジメントセンターでは、まちの歴史と今を紡ぐプロジェクト「コガネチョウ クロニクル」を、来年度から始動します。今回は、黄金町バザール 2020 第2部の会期に合わせ、黄金町エリアの活動団体が2020年に行ってきたことを紹介する「コガネチョウ クロニクル」準備室を開室し、まちづくりの"今"を伝えます。

日時 | 2020年11月13日(金)～11月29日(日) ※開・閉場時間は黄金町バザール 2020 第2部に準じる

会場 | 高架下スタジオ Site-A 小ギャラリー ※入場無料、会場受付にて検温と個人情報の提出にご協力ください。

協力団体 | 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会、日ノ出町町内会、初黄町内会、赤英町内会、初黄日商店会、横浜市立東小学校、東小学校放課後キッズクラブ、黄金町 BASE、大岡川川の駅運営員会、バザールサポーター など

ウェブサイト | <https://www.koganecho.net/contents/event-exhibition/event-exhibition-3076.html>

【プレスリリース配信元】黄金町エリアマネジメントセンター